

- 1 「マタニティ・ハラスメント」ってどんなこと?
- 2 「マタニティ・ハラスメント」を考えてみましょう!
- 3 ママにも、パパにも、優しい社会が待っています!

Sharing

シェアリング ~わかちあい~

〈特集〉「マタニティ・ハラスメント(略称マタハラ)」について考える!

今回は「働く女性が妊娠・出産・育児にあたって職場で受ける不利益や嫌がらせ・いじめなど」のこの「マタニティ・ハラスメント」について取り上げました。

1 「マタニティ・ハラスメント」ってどんなこと?



◆ 「妊娠したんだから、もちろん仕事は、辞めるんだよね？」



◆ 「サボっているだけじゃないのか！」



◆ 「妊娠は病気じゃないんだから、ちゃんと働け！」



◆ 「うちの会社では、妊娠した女性は、みんなやめているよ！」



◆ 「〇〇さんは、出産直前まで、きちんと働いていたよ！」

これが、**マタニティ・ハラスメント** なんです! お気づきになりましたか?
あなたも「言ったり」「見たり」「聞いたり」したことは、ありませんか?

「マタニティ・ハラスメント」のことを 皆さんに知ってもらいたいです！

2 「マタニティ・ハラスメント」を考えてみましょう！

〈1〉マタニティ・ハラスメントに関する意識調査

調査内容：①言葉も意味もよく理解している。 **6.1%** (まだ認知度はあまり高くありません)
 ②職場でマタハラをされた経験があるか。 **25.6%** (妊娠経験者316名が回答しました)
 ③セクハラ(※1)を受けたことがある女性 **17.0%**
 セクハラよりも、マタハラの被害者の割合の方がはるかに高いという結果です。
 その内容は、下記の通りです。この結果からよく考えてみませんか。

- ①妊娠中や産休明けなどに、心無い言葉を言われた。
9.5%
- ②妊娠・出産がきっかけで、雇用や契約打ち切り、自主退職への誘導等をされた。
7.6%
- ③妊娠を相談できる職場文化がなかった。
7.0%
- ④妊娠中・産休明けなどに、残業や重労働などを強いられた。
4.7%

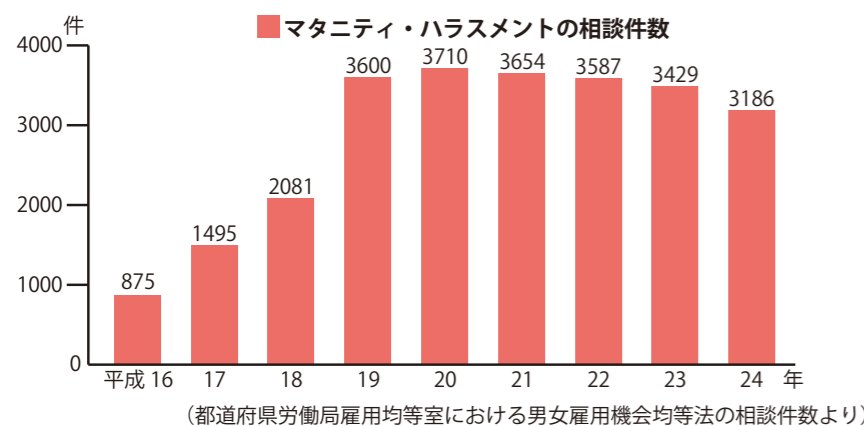
〈2〉マタニティ・ハラスメント被害を防止するために

◇男性社員の意識を高めること！
 ◇雇用側も意識を高め、支援できる体制づくり・環境づくりが必要！ といえます。

- ①男性社員の妊娠出産への理解不足・協力不足
51.3%
- ②会社の支援制度設計や運用の徹底不足
27.2%
- ③女性社員の妊娠出産への理解不足
22.0%

★〈1〉〈2〉ともにマタニティ・ハラスメントに関する意識調査(2013年5月日本労働組合総連合会 実施)による

〈3〉「妊娠・出産等を理由とした解雇などの不利益な取り扱いを受けた」という相談件数



平成16年度から始まった調査で、平成24年度までの調査結果がでています。こんなにも多くのマタニティ・ママが不当な扱いを受けたと感じて相談しています。「ポジティブ・アクション」(※2)や「男女雇用機会均等」の時代に本当に許されることなのでしょうか？

県内の経営者に対する要望3項目のうちの一つに「マタハラ」の要望が入っています。

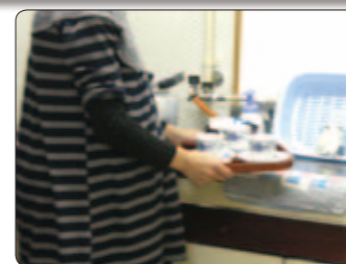
昨年6月13日には、職場の男女平等推進に関する理解を高めってもらうため、労働団体の女性委員会が経営者団体「栃木県商工会議所連合会」「栃木県商工会連合会」「栃木県中小企業団体中央会」「栃木県経営者協会」に対し、要請を行いました。

- 要請内容：①ポジティブ・アクションの推進
 ②両立支援(男性の育児・介護協力促進)の環境整備
 ③**妊娠・出産を理由とする不利益取扱(マタニティ・ハラスメント)の禁止、セクハラ(※1)、パワハラ(※3)の防止対策**の3項目です。

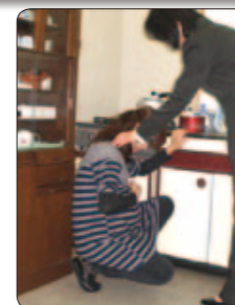
※1 セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)…職場において行われる性的な言動による嫌がらせ
 ※2 ポジティブ・アクション…働く男女の差を解消するために、個々の企業が進める自主的かつ積極的な取組のこと
 ※3 パワハラ(パワー・ハラスメント)…同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係の優位性を背景にした嫌がらせ

さらに、妊娠中に、職場で自分がしてもらって嬉しかったことや助かったことなどへの回答は次のようなことがあげられました。

♡妊娠を告げたとき、困った表情をせず**自分のことのように喜んでくれたこと。**



♡妊娠初期に体調がすぐれない時や痛みがあった時、**相談担当者を妊娠・出産経験のある女性の上司に交替してくれた。**男性よりも話しやすく、スムーズに理解してもらえて助かった。



♡妊娠中に残業や休日出勤のことを、出産経験のある女性の先輩から男性上司に「**妊婦であることを考慮すべきだ**」と意見してもらえたこと。



♡妊娠初期に切迫流産で2週間近く自宅で安静にし不安で落ち込んでいた時に、女性の同僚が「**あなたの席はちゃんとあるから安心して赤ちゃんの為に今は休んで!**」と温かい励ましのメールをくれたこと。



♡**特別に扱われなかったこと。**以前から体調や都合の悪いときは、互いに助け合っていたので、必要以上に罪悪感を抱かずに済み、心の負担に余りならなかったことがありがたかった。



♡妊娠を特別と思わず接してくれたこと。「大丈夫?」と**気遣いしてくれながら同じ仕事を任せてもらってやりやすかった。**産休に入る前の「待ってるからね」の一言もうれしかった。

あなたも、これを機会に振り返ってみてくださいね!

「マタニティ・ハラスメント」は 身近にも起こりうることなんです！

両親学級「フレッシュママ・パパ教室」アンケート結果を集計しました！

アンケートを行い、下野市が主催するフレッシュママ・パパ教室の参加者26名（男性10名・女性16名）に次のような回答をいただきました。抜粋して掲載しています。

フレッシュ・ママ

①妊娠したことへの素直な気持ちは？

- 不安がある …… 42%
- うれしい …… 31%

②仕事はどうするの？

- 続けている …… 44%
- 辞めた …… 56%

③職場や家庭などの周囲の配慮は？

- 夫がサポートしてくれる …… 69%
- 仕事内容や勤務体制への配慮 …… 25%

④妊娠してからの負担は？

- 体調が悪いときがあり、つらい …… 44%
- 家事が出来なくなる …… 38%

⑤検診や研修等に参加するための職場の休暇制度は？

- 休暇制度がある …… 43%
- 休暇制度はなく、年次休暇で参加 …… 37%

⑥マタニティ・ハラスメントという言葉を知っていますか？

- 言葉も内容も知っていた …… 56%
- 知らなかった …… 25%
- 聞いたことあり、意味は知らない …… 13%

フレッシュ・パパ

①妻が妊娠したことへの素直な気持ちは？

- うれしい …… 80%
- 不安がある …… 20%

②パートナーは仕事はどうするの？

- 続けている …… 40%
- 辞めた …… 60%

③妊娠してから家事への協力は？

- 洗濯 …… 40%
- 風呂掃除 …… 30%

④妊娠したことを職場で相談したり話題にしたことは？

- 妊娠した事を話した …… 90%

⑤父親としての育児休業を取りますか？

- とらない …… 70%
- 検討している …… 30%

⑥マタニティ・ハラスメントという言葉を知っていますか？

- 知らなかった …… 50%
- 聞いたことあり、意味は知らない …… 30%
- 言葉も内容も知っていた …… 20%

初めての妊娠でいろいろと不安なこともあると思いますが、参加していたママとパパをみると、二人で力を合わせて頑張っていこうという意気込みが、とても伝わってきました！ (担当・山口)



ご存知でしたか？

下野市では、妊婦・夫などを対象に、両親学級「フレッシュママ・パパ教室」を開催しています。これから予定のある方は、積極的に参加してみませんか？ 不安解消につながるかもしれません。フレッシュママ・パパ ファイト！

■お問い合わせ先 下野市健康増進課 ☎52-1116

※家族だけではなく職場でも話題にすることで、みんながこの教室のことを知れば、協力や応援体制が整い、フレッシュママだけでなくパパも両親学級にももっともっと出やすくなります。みんなで見守りましょう！

3 ママにも、パパにも、優しい社会が待っています！

育児を応援する施設や制度・政策などが充実してきています。一部をご紹介します。ぜひご利用ください。もっともっとママやパパたちが、安心して生活できる優しい社会になってほしいと願っています！

子育て応援サイト「ママフレ」(下野市)

下野市のホームページから利用する“知ってよかった！”“使って便利！”な役立つ行政サービスです。ママさん、パパさんチェックしましょう。
http://shimotsuke-city.mamafre.jp/



下野市育児ママリフレッシュ事業利用券

1時間利用券

登録 No.
交付年月日
有効期間



「育児ママリフレッシュ利用券」(下野市)

保育園などに入所していない生後3ヶ月から1歳未満の乳児の保護者がリフレッシュなどで一時的に乳児を預けることができるサービスです。(12時間分)

■お問い合わせ先 児童福祉課 ☎52-1114



「ママシネマ」

ママと赤ちゃんのための映画鑑賞会です。気兼ねなく安心して自由を楽しめます。照明は通常より明るく、音響は通常より小さくします。飲み物やお菓子などは持ち込みOKで、簡易授乳室、オムツ替えスペースなども準備されています。



「ベビー用カート」

お子様連れのご家族の方たちにも買い物を楽しんでいただけるよう、小さなお子様用の乗り物カートなどを用意しています。これなら楽しい時間が過ごせそうですね。



「マタニティマーク」

大切な赤ちゃんが、ママのおなかの中で、スクスクと育っています。元気に生まれてくるまで、みんなで大事に見守りましょう！妊娠届出をするときに母子手帳と一緒に配付されます。



「妊婦が乗ってます」

移動するために、ママも車に乗って運転しています。運転手のみなさまがた、いつも「お気づかい」いただき、ありがとうございます。



「チャイルドシートの貸し出し」

(下野地区交通安全協会)
会員の方は無料で借りられます。
①貸出期間は1ヶ月(再貸出可)
②ベビーシート・チャイルドシート・ジュニアシートの3種類に対応しています。



「パースコーディネーター」

妊娠中に適度な運動は大事とはいえ、なかなか目安がつかめないもの。そこでパースコーディネーターが、プレママやママのメンタルサポートやライフスキル、妊娠準備、出産準備などの育児について支援しています。



「赤ちゃんコーナー」

赤ちゃんのお世話は、いつもママとパパの二人での共同作業！
パパが連れて入る男性用トイレにもオムツ替え設備が整っています。「イクメン」パパを応援中！心強いですね。



「ホットママ」

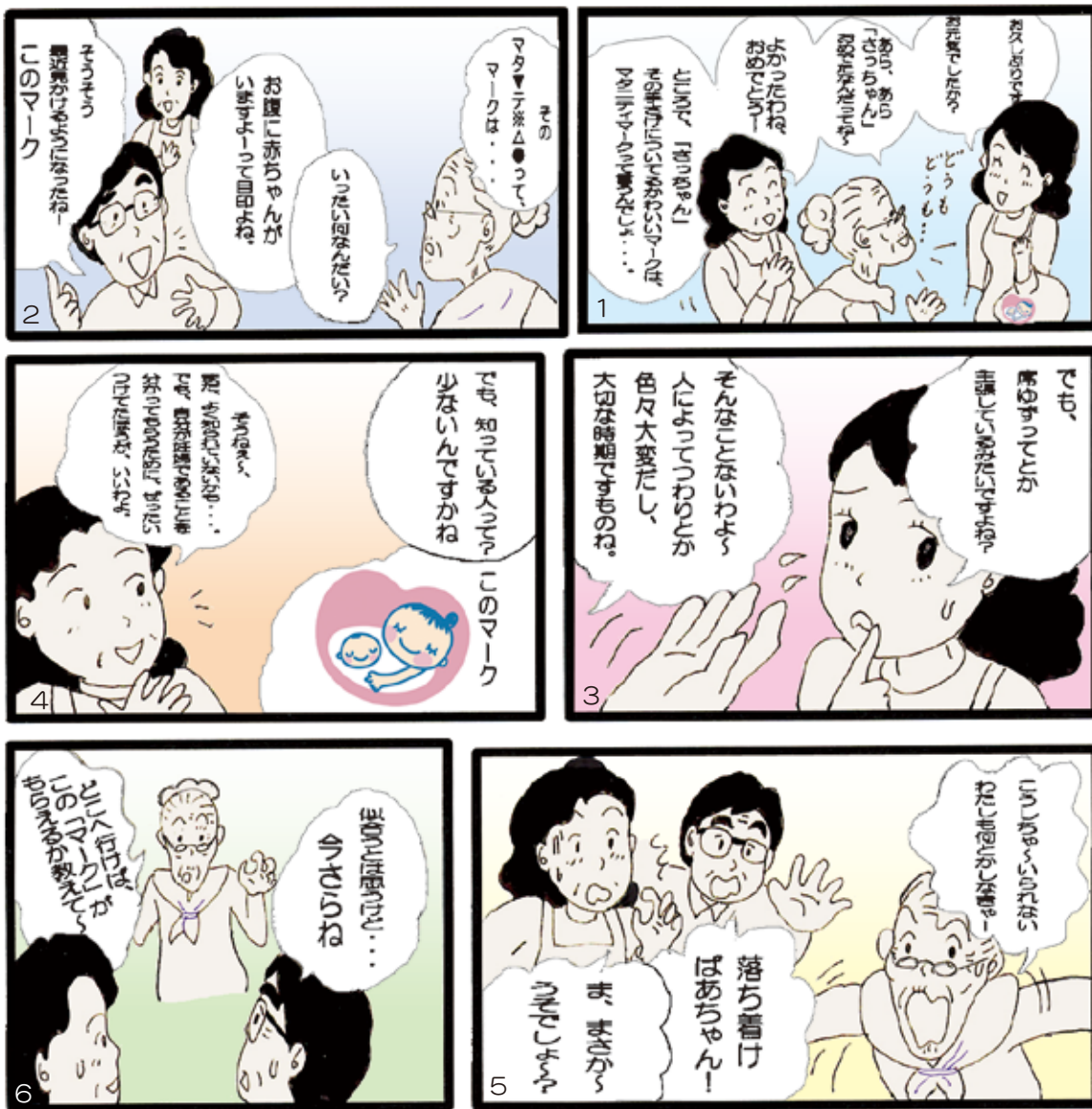
「HotMama (ホットママ)」とはアメリカで誕生した言葉で、「妊娠中や育児中であってもオシャレや趣味をアクティブに楽しむ女性」を意味します。さらに、日々の子育ての合間に「ほっと一息映画でも楽しんで！」という思いをこめての“ほっとママ”です。

おばあちゃんのお勘違い

マタニティ・マーク



おばあちゃんが欲しかったのはこのストラップです。



by mafumi

新推進委員会紹介 任期満了により、市男女共同参画推進委員会の委員が新たに選出され、平成25年10月22日から白鷺大学教授の堀眞由美先生を委員長とする新体制でスタートしています。

前委員長の宇都宮大学教授陣内雄次先生をはじめ、旧委員の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

●ご意見等を募集しています！

男女共同参画情報紙「シェアリング～わかちあい～」に関する皆様方のご意見・ご感想を随時募集しています。また、男女共同参画に関して、身の回りで感じていることなどもお寄せください。お待ちしております。

編集後記

編集委員：松本文男・山口容子・小幡洋子・中川美恵子・坂本貞夫・楡木悦夫

- シェアリングは男女共同参画の啓発と下野市の取組を紹介するために発行しています。まだ、ご理解していただけない方がおり残念です。皆様には積極的な情報提供やご協力をお願いいたします。
- 房総から菜の花摘みやイチゴ狩りのニュースが届き、春は少しずつやって来ているようですね！
- 皆様の目に、心に、どのくらい届いているのか、今回のテーマも「男女共同参画社会の醸成」には避けて通れないものと捉えています。一読して頂ければ幸いです。
- 本号の発行をもって編集委員を卒業いたします。それぞれの視点からアイデアを結集し、取り組んできましたが、皆様にとって何らかのヒントになりましたでしょうか。今後も本紙をととして「男女共同参画社会」を身近なものとして関心を持っていただければ嬉しいかぎりです。
- 男女平等社会という面で、日本は世界で100位以下という現実です。人間らしいメリハリのある働き方＝ディーセントワーク＝が実現してこそワークライフバランスであり、男女共同参画社会が見えてくるのでしょう。
- この情報紙「シェアリング」は、下野市男女共同参画推進委員会の活動の一環として作成するものです。従って、推進委員が自ら作り推進委員会が発行するものでなければ意味がありません。